



## 対数関数とそのグラフ

$a > 0, a \neq 1$  とする. 正の実数  $M$  に対して,  $M = a^p$  を満たすただ 1 つの実数  $p$  を,  $\log_a M$  と定義したのであった. すなわち,

$$a^p = M \iff p = \log_a M$$

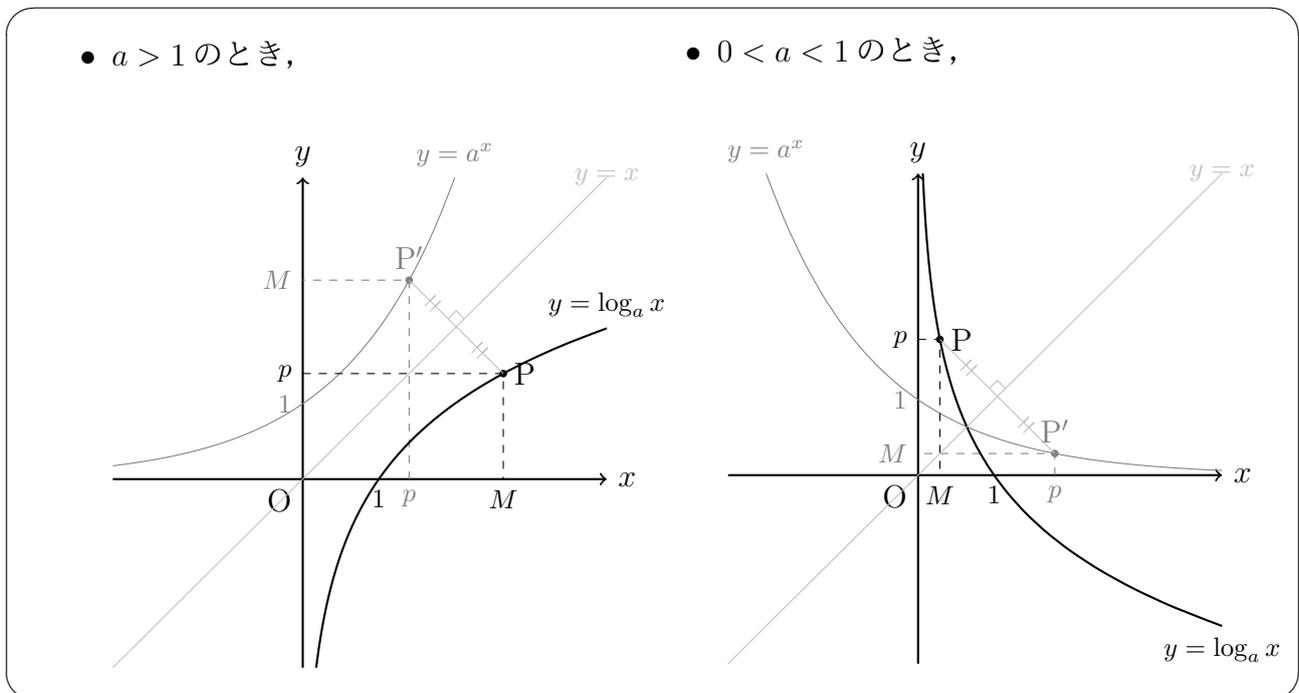
が成り立つのであった. よって,  $y = \log_a x$  は, 定義域を正の実数全体とする  $x$  の関数であり, その定義から, 指数関数  $y = a^x$  の逆関数であることもわかる.

定義.  $a > 0, a \neq 1$  とする. 関数  $y = \log_a x$  を  $a$  を底とする  $x$  の対数関数という.

対数関数  $y = \log_a x$  のグラフを描こう.  $y = \log_a x$  上の任意の点を  $P(M, p)$  とすると,

$$p = \log_a M \iff a^p = M$$

が成り立つので,  $P'(p, M)$  は, 指数関数  $y = a^x$  上の点である. 2 点  $P, P'$  はその座標から, 直線  $y = x$  について対称なので, 対数関数  $y = \log_a x$  のグラフと, 指数関数  $y = a^x$  のグラフは, 直線  $y = x$  について対称である<sup>1</sup>. この事実を用いて, 対数関数のグラフは次のように描くことができる.



対数関数は次の性質を持つ. いずれもグラフの形から明らかであろう.

### 対数関数の性質

対数関数  $y = \log_a x$  について, 次が成り立つ.

1. 値域は実数全体である.
2.  $a > 1$  のとき単調増加であり,  $0 < a < 1$  のとき単調減少である.
3. グラフは点  $(1, 0)$  を通る.
4.  $y$  軸はグラフの漸近線である.

<sup>1</sup>逆関数の関係にある 2 つの関数のグラフは, 直線  $y = x$  について対称である.

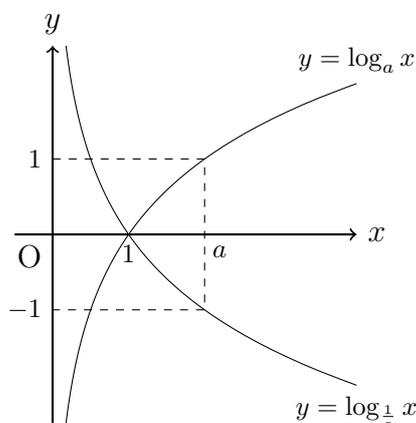
対数関数のグラフの対称性について考察する.

注意. 一般に,  $y = f(x)$  のグラフと,  $y = -f(x)$  のグラフは  $x$  軸に関して対称である.

$a > 1$  として,  $f(x) = \log_a x$  とする.  $\log_{\frac{1}{a}} x$  は, 対数の性質 (底の変換公式) を用いると,

$$\begin{aligned} \log_{\frac{1}{a}} x &= \frac{\log_a x}{\log_a \frac{1}{a}} = \frac{\log_a x}{\log_a a^{-1}} \\ &= \frac{\log_a x}{-\log_a a} = \frac{\log_a x}{-1} = -f(x) \end{aligned}$$

と計算できる. よって,  $y = \log_a x$  のグラフと,  $y = \log_{\frac{1}{a}} x$  のグラフは,  $x$  軸に関して対称である.



例.  $y = \log_5 x$  のグラフと,  $y = \log_{\frac{1}{5}} x$  のグラフは,  $x$  軸に関して対称である.

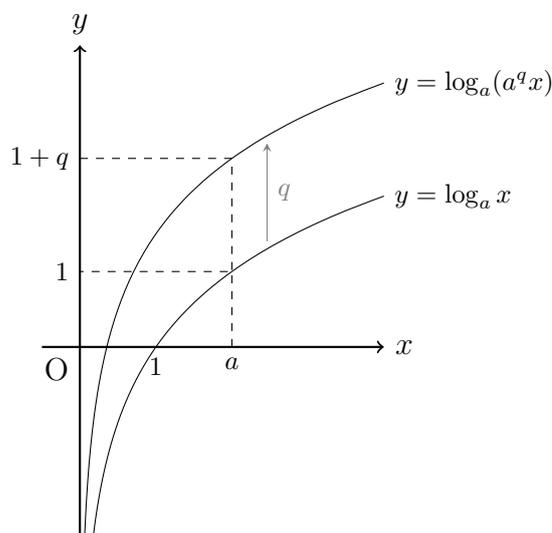
次に, 対数関数のグラフの平行移動について考察する.

注意. 一般に,  $y = f(x) + q$  のグラフは,  $y = f(x)$  のグラフを  $y$  軸方向に  $q$  だけ平行移動したグラフである.

$a > 1$  として,  $f(x) = \log_a x$  とする.

$$\begin{aligned} f(x) + q &= \log_a x + q \log_a a \\ &= \log_a x + \log_a a^q \\ &= \log_a (a^q x) \end{aligned}$$

なので,  $y = \log_a (a^q x)$  のグラフは,  $y = \log_a x$  のグラフを  $y$  軸方向に  $q$  だけ平行移動したグラフである. (右図は  $q > 0$  の場合)



例.  $y = \log_2 8x$  のグラフは,  $y = \log_2 x$  のグラフを  $y$  軸方向に 3 だけ平行移動したグラフである. これは次の計算から確認できる.

$$\log_2 8x = \log_2 2^3 x = \log_2 2^3 + \log_2 x = 3 + \log_2 x$$

•  $y = \log_{\frac{1}{3}} \frac{x}{9}$  のグラフは,  $y = \log_{\frac{1}{3}} x$  のグラフを  $y$  軸方向に 2 だけ平行移動したグラフである. これは次の計算から確認できる.

$$\log_{\frac{1}{3}} \frac{x}{9} = \log_{\frac{1}{3}} \left( \frac{1}{3} \right)^2 x = \log_{\frac{1}{3}} \left( \frac{1}{3} \right)^2 + \log_{\frac{1}{3}} x = 2 + \log_3 x$$